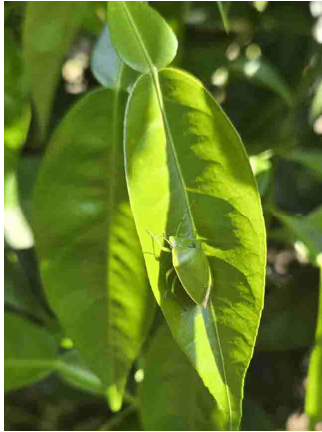


普及活動情勢報告（令和8年5月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

防ごう！果樹カメムシ被害



ユズの葉に寄生している
ツヤアオカメムシ

今年は果樹カメムシ類の発生が多く、令和6年に発生した果樹での被害の再発が懸念されています。

そこで、普及課室戸支所では、果樹カメムシ類の被害軽減に役立つ情報を提供することにしました。室戸市では4月上旬にJAを通じてビワ農家に資料を配布し、東洋町では4月中旬に柑橘農家に向けた町内有線放送を役場に要請するなど、カメムシ多発時の栽培管理について注意を呼びかけました。

情報提供後の現地巡回時に、農家からは「防除を行うかどうか迷っていたので踏ん切りが付いた」といった声が聞かれました。

室戸支所は、今後も現場の状況を素早くキャッチし、防除情報等のタイムリーな提供に取り組んでいきます。

安芸・室戸地区農村女性リーダー地区協議会総会の開催



総会の様子

4月20日、安田町ふれあいセンターで、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会総会が開催され、15人が参加しました。

農業改良普及課は、総会前の役員会では、令和8年度の活動計画の作成支援を、総会では運営の支援を行いました。

総会では、令和7年度活動報告と役員改選、令和8年度活動計画について協議しました。令和8年度も「研修会」や「つどい」を開催し、地区の女性リーダー同士の交流を図っていくこととし、具体的な内容については役員会で検討していくこととなりました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的な計画活動実施に向けて支援していきます。

今年も猛暑がやってくる！熱中症に気をつけて！ ～芸西地区ナス勉強会～



熱中症対策について
説明する普及員

4月20日、芸西地区ナス勉強会が開催され、生産者や農業技術センター、関係機関含め31名が参加しました。

農業改良普及課は、熱中症予防対策と農作業安全対策について説明を行いました。こまめな水分補給や休憩の重要性、無理のない作業計画などについて呼びかけました。

生産者からは「熱中症は少しでも無理をすとなりやすいので気をつけたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、農業現場の安全確保に向けて支援していきます。

楽に農薬散布を！ ～常温煙霧処理による病害防除試験～



常温煙霧機の設置状況

安芸地区の促成ナス栽培では、農薬散布が省力的にできる常温煙霧の実証試験に取り組んでいます。常温煙霧とは高濃度少量の薬液を超微粒子の煙霧として散布する方法です。4月30日に安芸市のナスほ場で防除効果の調査とヒアリングを行いました。

実証農家は「常温煙霧処理でハウス内に拡散できているか気になったが病害は抑えられており、4ヶ月間手散布しなくてよくなり楽になった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後、部会で調査結果の情報提供を行い、省力化技術の確立や普及に取り組んでいきます。

環境に優しい農業を継続していこう！ ～JA馬路村ゆず部会総会を開催～



みどり認定制度を説明する普及指導員

4月30日、コミュニティーセンターうまじで有機農業に取り組んでいるJA馬路村ゆず部会の総会が開催され、農業者21人が参加しました。

農業改良普及課は、化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者の認定制度「みどり認定」を説明するとともに、熱中症対策、農作業安全について注意喚起しました。

農業者からは「みどり認定にあたり、有機物資材の施用はどうしたらよいか」「今後暑くなってくるので、気をつけて農作業に取り組もう」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、みどり認定の取得に向けて支援していきます。

就農に向けた研修開始！ ～東部研修拠点入校式～



研修カリキュラムを説明する普及指導員

5月1日、株式会社アグリード土佐あきは、安芸市で座学から現地実習まで一貫した研修を実施する研修拠点の入校式を実施しました。入校式には、5月から研修を開始する子育て世代の2名が参加しました。

農業改良普及課は、研修拠点始動に向けたカリキュラムの作成や入校式のオリエンテーションで、資料や注意事項の説明などの支援を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して研修拠点の運営を支援し、研修内容、就農支援体制の充実に向け取り組んでいきます。

日南地区における「ぼたなす」の周年出荷に向けて



出荷試算を示す普及職員

5月15日、室戸市役所職員、集落支援員、地域支援企画員、室戸支所普及職員が室戸市役所に集まり、日南地区のぼたなすについて協議しました。

今作から始まった促成栽培において、販路の確保ができず販売に苦戦したことを受け、ぼたなす振興のための課題整理・解決方向の検討を行いました。

室戸支所は、6月末までの促成栽培の出荷シミュレーションと、これまでの雨除け・露地データを加えて試算した年間の出荷量を報告しました。また、集落支援員の活動計画や進行中の販路開拓等の状況も踏まえ、日南地区での促成栽培面積を関係機関合意のもと決定しました。

室戸支所は、今後もぼたなすの周年出荷体制構築に向けて促成栽培作型の確立を支援していきます。